

議会だより

No.202

編集：議会広報特別委員会

令和元年 第4回定例会(12月12日)

12月12日に開催され、議案16件、同意2件、報告4件、承認3件が提出され原案のとおり決定しました。

町長の行政報告がありました。
4件について概要報告致します。

町長行政報告

○「幌加内町産業貢献者」について

去る12月10日に選考審議会を開催し、上幌加内 古屋幹夫氏、農業70歳、幌加内 藤井巧氏、農業70歳の2名が被表彰者に決定された。

この方々については、来年1月開催予定の町議会臨時会終了後、表彰式を開催し表彰したいと考えている。

○「主要農作物の販売見込額」について

水稲については、おおむね好天に恵まれ、農作業、生育も順調に推移した。8月8日から10日にかけての大雨により冠水するほ場もあったが、収量は平年

並みからやや良の出来秋となった。

そばについては、干ばつの影響と大雨による倒伏被害があり、平年並みをやや下回る収量となった。

水稲は、作付面積でうるち米・もち米合わせて前年比1.4パーセント減の311.07ヘクタールとなり、出荷数量は28075俵と反収で9.02俵となった。今年の傾向としては、品質的にもよく、昨年のような2等米50パーセントではなく全量とはならないが、おおむね1等米と聞いている。販売見込高

は、3億7000万円余りと対前年比36.9パーセントの増となった。

畑作は、そばは46759俵、反収は1.30俵と、平年作をやや下回る結果となり、販売見込高は5億6100万円余りと前年対比で1億700万円、23.6パーセントの増となった。その他、小麦、豆類、いなぎび等で、4649万7000円、対前年比45.5パーセント増であるが、イナキビ、あわの収量が大きく伸びたことが主な要因である。野菜は、見込み数値として南瓜が前年に対して2.7パーセントと収量が大幅に減少し10万1000円となり、全体でも前年に対して1.4パーセントの11万2000円の販売見込である。

畜産関係は、固体販売の伸び悩みや生乳数量の落ち込み等により、畜産全体で前年比7.8パーセント減の2億5700万円余りとなった。この結果、農畜産物合計販売見込額で、対前年比11.4パーセント増の12億6300万円となる見込みである。

生産者の皆様には、昨年度は大変厳しい年となったが、今年

度は平年並みの販売見込み額となり安堵するとともに、営農努力に敬意を表するところである。

○「政和温泉ルオント改修に伴う入浴措置」について

政和温泉ルオントについては、リニューアル工事にて11月より2期工事が始まり、来年の4月までお風呂に入れない状況であるが、ルオントは「町民保養センター」として多くの町民に親しんでいただける施設でもあり、特に高齢者の方の中には「ルオントがあるから風呂をなくした」「風呂釜が壊れたけれどもルオントがあるから直さない」、また「ルオントに行けば誰かに会える」といった声もあり、先に開催した町政懇談会においても閉鎖期間中の代替措置についての意見があり検討をしてきた。

他市町村温泉施設の送迎については運送業の規制や、営業的にも困難であることから断念し、ルオントの改修が終わるまでの暫定措置として、福祉の観点に絞って高齢者福祉センターの浴槽を利用し対応することとした。



開放時間はデイサービスと重ならないよう、毎週火曜日12時30分～15時30分まで。対象者は、65歳以上の高齢者及び障害者、総合事業サービスの登録者。利用料金250円などとした。

詳しくはIP端末による告知や地区民生委員さんによる情報提供をしていく。

○「一般社団法人 日本観光文化協会主催、「観光特産アワード」について

10月25日に初の「観光特産大賞」「優秀賞」「ニューウェーブ賞」を12月に発表するとして、協会の専門化が独自に推薦した約90件の観光特産品の中から、食と観光、地元グルメ、お土産品などが、今年話題となった特産品11品が観光特産アワード事務局の専門委員会によってノミネートされた中に「幌加内そば」が選出されていた。

この12月2日に「2019観光特産大賞」グランプリに見事「幌加内町そば活性化協議会」が選ばれた。幌加内町、JA、観光協会など、町が一体となつて力を入れていることや、日本一の生産量と、品質を誇るための工夫と「そば祭り」の開催な

どが総合的に評価されたところで、推薦者の言葉では、「北海道といえばラーメンが知られているが、幌加内町のそばに対する頑張りをもっと知ってもらい広げるためにこの賞を機会に知名度をアップしてほしい」とのことであった。

最終選考されたものが3品目あるが、これは書籍「日本の観光特産・名産」の別冊で掲載されるほか、「グランプリ」のロゴが認められ商品パッケージへの使用も可能となる。

この受賞は大変名譽なことであり、町としても「幌加内そば」製造者共々、この受賞を対外的にアピールし更なる「幌加内そば」の振興・販売促進に役立ていきたいと考えている。

同 意

○幌加内町功労者顕彰条例による表彰

◎被表彰者は、次の2名とした。
小川 雅昭氏
高山 安子氏

専 決 処 分

○損害賠償

◎幌加内小学校駐車場に設置している雨水処理用マンホール蓋の上を車両が通過し、蓋が回転し跳ね上がり、車両運転席側のドアに接触し損害を与えた。
(損害5万5418円を賠償)

○幌加内町一般会計補正予算(第4号)

◎老人福祉寮及び保健福祉総合センターアルクのナースコール機器不具合による修繕等により276万4000円を補正。

○幌加内町一般会計補正予算(第5号)

◎朱鞆内コミュニティ公園内バス待合所、床暖房ボイラー故障・修繕及び地域情報発信基盤更新に伴う屋外拡声器の故障・改修等により173万3000

円を補正。

○幌加内町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

◎本年度より、道営農地整備事業、幌加内中部地区、平和第一かんがい用水路整備工事が実施され、パイプライン整備予定箇所の本町の水道管があり道営工事に支障があるため水道管移設工事として84万1000円を補正。

条 例 改 正

○幌加内町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

◎平成31年4月17日交付の住民基本台帳法施行法令が一部改正され、住民票、マイナンバーカード等へ旧氏の併記が可能となり令和元年11月5日施行に伴い、市町村条例に定めている印鑑登録及び証明に関する条例について旧氏、旧性の併記とする条例改正。



○幌加内町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

◎幌加内町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

◎人事院勧告に基づき期末手当の支給割合を年間0・05ヶ月分増額し、令和元年12月1日から適用する。

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

◎人事院勧告に基づき期末手当の支給割合を0・05ヶ月分増額、また、民間給与との格差是正を図るため、行政職給与表及び医療職給与表を改正する。

○成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について

◎成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律、令和元年法律第37号令和元年12月14日施行。成年被後見の利用促進に関する法律、平成28年法律第29号に基づく措置として成年被後見及び被保佐人の人

権が尊重され成年被後見人または被保佐人である事を理由に不当に差別されないよう、成年被後見人または被保佐人にかかる欠格条項やその他の権利の制限にかかる措置条例の一部改正。

○会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例について

○会計任用職員制度の導入にあたり、既存条例の規定の文言整理、会計年度任用職員に関する規定の追加を整備条例として一部改正。

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について

○災害弔慰金の支給等に関する法律及び災害弔慰金の支給に関する法律施行例の一部改正に伴う条例の一部改正。

○幌加内町生活改善センター設置条例の一部を改正する条例について

○令和元年9月5日をもって政和生活改善センターの解体が完了したことに伴う条例の一部改正。

新規条例

○幌加内町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例について

○幌加内町フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例について

○地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行により令和2年4月1日より会計年度任用職員制度が創設され、フルタイム会計年度任用職員、パートタイム会計年度任用職員の給与、報酬等に関し条例を制定。

経過措置として、従前の非常勤職員として任用していた職員が会計年度任用職員として引き続き任用がされた場合、前年度給与に相当する報酬等の年間見込み額に達しない場合、現給補償等の調整を定めている。

補正予算

○令和元年度幌加内町一般会計補正予算(第6号)

○基金積立金公共交通整備運営基金、森林整備事業委託料、介護人材確保支援事業補助金、ほ

ろかない福祉商品券事業補助金、副食費無料化事業補助金、経営所得安定対策等推進事業補助金、住宅リフォーム補助金、ICT教育推進振興補助金、政和研修センター体育館屋根雪害改修工事、政和生活改善センター解体工事等の増減により、4478万7000円を減額し、総額42億2331万3000円とした。

○令和元年度幌加内町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

○特定健診審査委託料、国庫支出金返還金等の増減により、5000円を追加し、総額2億125万2000円とした。

○令和元年度幌加内町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

○事務費負担金及び保険料等負担金の増減により、8万3000円を減額し、総額3151万8000円とした。

○令和元年度幌加内町介護保険特別会計補正予算(第3号)

○地域密着型サービス給付費、居宅サービス計画給付費、通所

型サービス業務委託料、生活支援体制整備事業活動業務委託料等の増減により、461万8000円を減額し、総額1億9374万2000円とした。

○令和元年度幌加内町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

○水質検査業務委託料、水道メーター器取替工事等の増減により、88万4000円を減額し、総額8469万7000円とした。

○令和元年度幌加内町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

○合併処理浄化槽保守点検業務委託料、合併処理浄化槽設置工事等の減額により、295万円を減額し、総額7954万4000円とした。

発議

○閉会中の所管事務調査の申し出

○議会運営委員会及び総務厚生常任委員会、産建文教常任委員会からの申し出を協議の結果、許可した。

●議会事務局からのお願い●

議長宛の文書や案内状は、議長公務の日程を調整する必要がありますので、直接議会事務局へ送付願います。

(送付先) 〒074-0492 北海道雨竜郡幌加内町字幌加内 4699 番地
幌加内町議会事務局宛



小関議員

第7次総合振興計画の進捗状況と今後について

各分野の諸課題について、一定の成果があったと考えている

平成27年制定の幌加内町第7次総合振興計画、10年計画も前期5年間を経過している中、商工業、特に小売販売店の廃業、基幹農産品そばの不作、医療・介護への不安、日常生活の不便さ等も起因として、統計上、本町も一時人口増加の状況があったが本年10月末では、世帯数768戸、前年比26戸減。人口1,447人、前年比65名減。将来人口推計の令和6年では、1,395人と予測されているが、現況を踏まえる

と下回ることが危惧される。それらを踏まえ第7次総合振興計画の前期実施計画の進捗状況と評価についてどのように捉えているか伺いたい。

町長

平成27年度策定の幌加内町第7次総合振興計画に

ついては、令和元年度末で前期5年間が終了する。

平成27年4月に町長1期目として就任後、基本理念である

「人に自然にやさしい故郷づくり」。将来像は「夢と誇りを持つて生きいきと暮らすまち」

を目指し、各分野の諸課題について取り組んできた。この5カ

年間では、平成22年に空知管内から上川管内へ移管した。まずは行政の土台づくりに注力すべ

く未解決であった「選挙区の改正」や「消防組合の移管」、

「地域公共交通「ほろみん号」の本格運行」や「厚生労働所管

窓口改正」など、国を始め各関係自治体、団体、機関の多大な

ご協力とご理解を賜り実現することができ、幌加内町の行政

の立位置の軸を据えることが出来た。



また、安心して暮らせる町づくりの実現のため、長年の懸案であった病院再編に伴い、ス

ケールメリットを効果的に発揮できるよう町立診療所の建設や

民間活力による特別養護老人施設の建設により、持続的な医療、介護サービスの提供に道筋

が付けられたものと確信している。

しかし、日本全国でも少子高齢化や一極集中により人口減少

が進み、本町においても人口減少は進んだが、国立社会保障・

人口問題研究所が平成27年に公表した2020年現在の本町人口推計は1,385人とされて

いるが、介護人材、保育人材の確保に係る諸制度の創設なども

一定の成果を挙げ、この数字よ

り人口減少は、若干緩やかに推移していくと考えている。

また、地域振興分野では、そば関連産業の促進、朱鞠内湖のイトウによる新たな観光振興と資源の確保事業の推進、民間賃貸住宅の増設（平成27年、平成30年・4棟16戸、民間単独で1棟10戸）を実施、関係人口の拡大や町民の憩いの場を充実させるため、ふるさと納税の充実や町民保養センターの大規模改修に着手した。

農商工分野では、地域農工商業の維持・向上を目的とする各奨励補助金の創設と改善、国営・道営農業農村整備事業の着実な実施を図ってきた。

土木分野では、道道旭川幌加内線改良工事ははじめとする各要望路線の整備推進と、治水対策として国も重点的に力を入れている国土強靱化対策の一環として「雨竜ダム再生事業」の調

査が始まった。教育分野では、先送りしていた学校教育施設環境の改善と整備に積極的に取り組み、これらの進捗状況により町政推進において一定の成果はあったと考える。

総合振興計画前期が令和元年度で終了する。その後の用意をしないといけないが、終わるのを待って計画を作るのか、終わることを前提として計画をたてるのか。公共施設の改築、新築など経費が必要となる分野があると思われる。公共交通の問題においても、現状のままが良いのか、北部地域方面の方において、今後我々は考えていくべきなのか。縦長だからこそ活かしていく方法、雪が多い、寒いなどがあるが、欠点は逆に言うと長所であり、特異性だと思つ。

今後の実施計画の工程表をいつ頃までに明示できるのか。また、根本的な今後の取組みについての心構えを伺いたい。

町長

スケジュール等について、後期実施計画の工程



は、今年9月に町内事業の取りまとめを行っている。10月、所管部署のヒアリング、11月、副町長ヒアリングを実施し事業内容の精査や財源確保等を検討し、現在、最終的な調整作業を行っている。

地方交付税の減少に伴い財源確保には、非常に苦慮している。今後、公債費の計画、財政計画の見直しをたて、令和2年2月中に総合振興計画策定審議会に図り承認を頂いた後、3月には議員各位に説明ができるよう作業を進めている状況である。

昨今、SDGS、持続可能な社会の構築等が唱えられているが、災害列島日本において、比較的穏やかで大自然に囲まれた本町の環境特性は益々見直されるのではないかと期待をしている。

町づくりに対しては、特効薬はない。

例えば幌加内高校生は町外生がほとんどであり、卒業と同時に、また町外にもどっていく。こういった卒業生を幌加内町に就職してもらう、そういった受け皿作りを拡大していくことが大変重要だと思っている。そ

の為には、そば産業の発展、あるいは朱鞆内湖を軸にした観光産業の発展などで経済効果をあげて、雇用の場の拡大を図っていききたい。

ほろみん号については、まだ発展途上であり、今現在は幌加内、旭川間の横を結んでいるが、これを更に進化させたいと思っている。あるいは北部地区に対する横軸、これも進化していかないといけないと思っ

また、大型公共整備事業に関しては、ストックマネジメントで既存の建物を有効に活用していく、それらを抱き合わせながら検討を進めていきたいと考える。

大きな投資が伴うことでもあり、拙速に答えをだして事を損じる、こういった事は避けていきたい。また議員・町民の皆様とじっくり話し合いをしながら進めていきたいと思っている。

財政運営については、財政調整基金30年度決算から、この基金を取崩さなければ収支バランスが取れなく厳しい現実もあるので、最小の財源で最大の効果、これが発揮されるよう取り組んでいく。



Q

雇用と朱鞆内湖の観光とあつたが、どちらも移住政策なのか、交流人口なのか。

何年か前に東川町に訪問した際に当時の職員から人口1万人を目指す。実質、人口1万人はなかなかならないかもしれない、交流人口、関係人口、感心をもって頂ける人達の人口という計算の中で、1万人という人口形態を維持したい。その中で政策が行われているように聞いた。

朱鞆内湖の嵩上げの問題についての工事関連、取組み、あわせて朱鞆内湖の観光など母体をどうサポートしていくのか。

答弁 町長

A 従前から、町づくりには特効薬がないといっているが、その中で、地方創生という言葉が出始めて町を見直す良いきっかけと捉えている。

地方創生、目玉としては、幌加内そば、これを活用した町づくり、そして観光部分では朱鞆内湖を全面に押し出して発信をしていく。

そばに関しては6次化産業の推進を含め、経済効果をあげる。そうすることにより雇用の場が創出されて定住人口の増加に繋がるの一点。

朱鞆内湖の振興については、例えばイトウのガイド付きフィッシングツアー、そして、

イトウだけではなくネイチャーガイド、これらを要請して人を呼ぶ。そうすることにより、ガイドが地域に定着する。また雇用の場にも繋がりが、交流人口の拡大に繋がっていく。

この2つを幌加内町の地方創生の目玉にしていきたいと思っ

もう一つは幌加内高校。この高校の維持、更なる発展、そのことがまた幌加内町の発信にも繋がっていくのではと考えている。

最近では関係人口増加と言われている。定住人口未満、あるいは交流人口以上、それが関係人口だと言われている。

ふるさと納税者にはお礼の言葉、一筆をなるべく書き添えるようにしている。その中で、ふるさと納税者のリピーターの方には特に書くようにしているが、良いそばを作ってください。あるいはイトウのいる自然環境、これを大切にしたい。またきたいのメッセージが沢山寄せられている。そういった方を関係人口として、何か一工夫できないかなど担当職員と話し合いをおこない、着実に一步一步進めていきたい。





中川議員

Q 加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度の創設について

A 購入の手法を工夫するなど、助成制度の創設に向けて検討していきたい

Q 高齢者、70歳代の男性では10・6パーセント、80歳代では10・6パーセント、80歳代では男性36・5パーセント、女性28・8パーセントの人が難聴者になっているといわれています。



る。加齢性難聴は、日常生活を不便にしてコミュニケーションを困難にするなど、生活の質を落とす大きな原因になっている。最近では、うつや認知症の危険要因になることも指摘されている。

医療費の抑制にもつながる。加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度を本町においても創設することを検討していただきたい。

答弁

町長

A 本町の11月末現在の総人口は、1447人（男性721人、女性726人）で、70歳から79歳の人口が、男性107人、女性120人、227人、80歳以上の人口が、男性102人、女性143人、245人となっており、70歳以上の総人口は472人となっている。

また、本町における聴覚障害による身体障害者手帳の交付を受けている方は、70歳から79歳で男性1名、80歳以上で男性9名、女性8名の総数18名となっている。

高年齢者に対する配慮が求められている。欧米では補聴器購入に補助制度があり、本来は国において助成制度をもつべきと思うが近年、補聴器購入に対して補助を行う自治体も増えてきている。

補聴器の更なる普及で高齢になっても、生活の質を落とさず心身ともに健やかに過ごすことができ認知症の予防、ひいては

高齢者の難聴者の実態調査は行っていないので正確な数値はないが、保健師が老人クラブの訪問などに行った際、「最近、人の話などが聞き取りにくくなった」と言う方が、全体の2〜3割程度はいるようである。また、以前は老人クラブにも参加していた方が、だんだん会話が聞き取りにくくなったことに



より、参加されなくなった方もいると伺っている。

補聴器の購入に対する助成については、こういった高齢者の生活を支えていく、あるいは地域社会に取り残されない意味からも、国レベルにおいて助成制度を創設すべきと思うところではあるが、道内自治体において助成を行っている事例もある。また、本町のニーズを把握し、他の事例も参考にしながら助成制度の創設に向けて検討していきたい。

また、補聴器を購入しても中々馴染まなく、あまり使用していない事例も多く聞くことから、制度設計をする際には、無駄にならないような購入の手法を工夫するなど併せて検討していきたい。

Q 東京都江東区では4万円程度の補聴器を現物支給している。もう一つの特徴的な取り組みとしては、認定補聴器技能者が定期的に来て補聴器の調整をしてくれる事により利用者も大変便利になっているとも聞いている。

制度設計にあつては、アフターフォローに対する助成も含めて制度設計をしてほしい。

答弁

町長

A かなり高額な補聴器を購入しても定期的な調整をしていかないとかなかなか、その機能が発揮できないと聞いている。

購入しても無駄にならないようアフターフォローも含めた内容、実態も把握しながら検討していきたい。



決算審査特別委員会

平成30年度決算審査： 全て認定されました!!

令和元年度第3回定例会において「決算審査特別委員会」に付託された、一般会計をはじめ各特別会計の30年度決算は、それぞれ厳正に審査を行った結果、全ての決算は認定すべきと決定しました。

委員審査での質疑を抜粋し、次のとおりお知らせいたします。

- ・決算審査日 令和元年10月23日～24日（2日間）
- ・特別委員会委員 議員7名（議長、議選監査を除く）

一般会計

社会福祉総務費

市村議員

Q 福祉除雪業務委託料について、シーズンで6万円と7万円のところがあるが、なぜ金額に差が生じているのか。

福祉課長

A 福祉除雪業務委託料の単価の違いについて、7万円は、除雪組合の委託単価。6万円は、その他、個人等の委託

経費となっている。

違いが生じているのは、平成

29年度において除雪組合の方から、一般家庭も行うので値上げのお願いがあり7万円となりました。玄関先の通常の除雪と、それ以外に寝室の窓下で2万円をプラスして委託料で支払いをしている。

これについては、除雪組合、その他の除雪に2万円をあわせて、8万円と9万円になっている。多少金額が違うが、平成30年度も同じような仕組みで行っている。

市村議員

Q 除雪シーズンはどこも皆同じ条件だと思うが、除雪組合を優先に考えて7万円を認めたということが良いのか。

福祉課長

A 平成29年度からの除雪組合の値上げについては、

内部で協議をし、除雪組合については7万円。その他については6万円として2年間続いている。しかし、7万円、6万円の差が良いのか、再度、町長とも協議してどのようにしていくのか今年度の前に検討していきたいと考えている。

土木総務費

中南議員

Q 名寄遠別線建設促進期成会負担金について、この名寄遠別線建設は開通にどのくらいかかるのか。

建設課長

A 期成会総会の時点では予算のつき次第との話であったが、概ね7年程度。

幌加内側については、あと数メートルとなっており工事を実施するほとんどが遠別側の本工事となっている。

しかし、北海道の相対的な開発道路の整備事業の予算配分が留萌の方におもしろくなく、若干の延長は想定されるものと考えている。

災害対策費

小関議員

Q 備品購入費について、高校のハウスの発電機、簡易ストーブとの説明であったが、主要な施策の成果に関する事項の中でインバーター発電機4台で避難所用の設置となっているが、避難所はどこを指しているのか。

建設課長

A 政和、添牛内、朱鞠内、母子里の各地区コミュニティセンターの4台です。

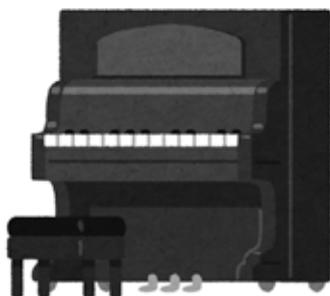
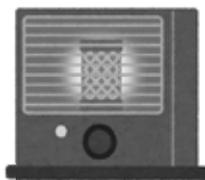
教育費

中南議員

Q ピアノ調律手数料について、小学校5万8000円。中学校と生涯学習センター2万9000円となっている。金額に倍ぐらいの差が生じているが何か違いがあるのか。

教育次長

A 普通のピアノ（アップライトピアノ）とグランドピアノの違いであり、台数の違いによって差が生じている。



産建文教常任委員会所管事務調査報告

調査項目：町内河川の現地調査について

調査年月日：令和元年10月31日

視察場所：町内

視察議員：市村委員長、中南議員、蔵前議員、藤井議員、小川議長

町内河川の現地調査について

○視察場所 町内



今回調査を行った河川の一部においては雑木等の撤去作業が進められていたが、河川の氾濫被害を無くすためにも今後引き続き各関係機関へ整備要望をしていく必要があると感じた。

近年の局地的な大雨により河川の氾濫被害が発生している幌加内町内の道管理河川及び町管理河川について調査を行った。調査を行った河川については、いずれも近年の局地的な大雨により被害が発生している河川であるが、整備が進んでいない原始河川においては雑木が生い茂り、ゴミや土砂の堆積などによってスムーズな水の流れが確保できない状況となっていた。



〔元川〕



〔雨煙内川〕



〔弥運内川〕



〔幌加内川〕

総務厚生常任委員会所管事務調査報告

調査項目：旭川市総合防災センター視察

調査年月日：令和元年11月28日

視察場所：旭川市

視察議員：小関委員長、中川議員、稲見議員、蔵前議員、藤井議員、小川議長

旭川市総合防災センター視察について

○視察場所 旭川市



旭川市総合防災センターは、平成20年10月に開設された施設であり、消防救急課・指令課・防災課及び消防東光出張所が配置されている。

また、平成25年9月には鷹栖町、上川町との消防事務委託の調印が行われ消防機能の広域化も図られていた。

指令課の担当者より防災センター内部の施設案内があり、火災、救急災害時に対する施設の機能と役割についての説明があった。また、センターの立地場所についても旭川市内で災害が発生した場合の災害対応や避難所としての機能なども考慮されており、本町としても今後の災害対応に対する参考となる施設であった。



わたしの一言



藤井 祐さん

わたしの一言は2回目でありませんが、簡単に自己紹介をしたいと思います。

今年で実家に帰って来て、14年目になりました。

実家が農家だったので、父親の下で農家を継ぐため、勉強が始まりました。

自分が30歳頃、父が65歳になる前に、経営移譲手続きに入り、農家の経営者となり、父親には堅実な経営を進めてきましたが、すぐに大規模経営にシフト変換し、面積を倍以上増やしていききました。このことで口論になることもありました。今も父は体が痛いと言いな

がら繁忙期には人一倍働いて

くれるので、とても助かって

います。去年色々なことがあり、町議会議員になることになりました。

約1年間が終わりましたが、色々な研修会や他市町村を見に行く機会があり、幌加内町が魅力的な街だと再認識するとは個人的にビックリしました。

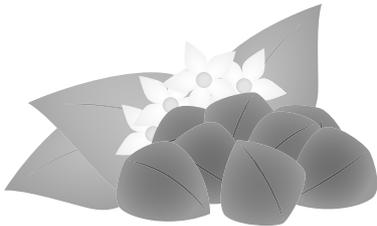
自分が残り3年間で何ができるか、わかりかねますが、やることは山積みで勉強尽くめの毎日だと思います。優しい目や暖かい気持ちでみてもらいたいです。目に余る行動や言動が出ているときはご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願いたします。

さて本題に入りたいと思い

ます。最近始まったそばの花

を見るイベントはご存知でしょうか？そば畑をライトアップし、幻想的な空間を作り出せるように試行錯誤中

です。来場していた方からも伸びしろのあるいいイベントだと言って頂いて、主催者側も頑張っているとうと盛り上がりを見せているので、暖かい目で見て頂ければ幸いです。



議会目誌 9~12月

9月

- 3日 総務厚生常任委員会
- 4日 土地改良区断水式
- 6日 議会運営委員会
- 9日 添牛内自治区「長寿を祝う集い」
- 12日 第3回定例会
- 14日 朱鞠内自治区敬老会
幌加内自治区敬老会
- 16日 母子里自治区敬老会
- 21日 第5回よるべさ杯パークゴルフ大会
- 26日 士別地方消防事務組合構成市町
議会議長打合せ会議（士別市）
- 28日 朱鞠内小学校学芸会
- 30日 和寒・剣淵・幌加内3町議会議
員研修会（和寒町）

10月

- 7日 上川北部市町村議会議長会定
例会（中川町）
- 9日 幌加内町福祉のつどい

17日～18日

上川管内町村議会議長研修会
（愛別町）

19日

第43回産業祭

21日

交通安全町民集会
決算審査特別委員会

23日～24日

決算審査特別委員会

25日

北海道管理河川の整備促進要
望（旭川市）

26日

第28回コンサートイン朱鞠内

28日

上川町村議会議長会役員会
（旭川市）

広報特別委員会

29日

上川管内町村議会議員研修会
（美瑛町）

30日

産建文教常任委員会

11月

1日 土地改良事業推進協議会

12日

広報最終チェック

12日～16日

上川管内町村議会議長会現地
研修会（岩手県）（秋田県）

13日

町村議会議長全国大会
（東京都）

22日

ほろたちスキー場安全祈願祭

23日

幌加内神社新穀感謝祭

28日

中川町総務常任委員会所管事
務調査
総務厚生常任委員会所管事務
調査（旭川市）

12月

5日

議員協議会
議会運営委員会

10日

産業貢献者選考審議会

12日

第4回議会定例会

19日

議員協議会
産建文教常任委員会

24日

鈴木直道政経セミナー（札幌市）
小平・幌加内・沼田3町広域
振興協議会町長・議長会議

